

# 棚田通信

NO3 2007.7

恵那市坂折棚田保存会

## なごみの里だより

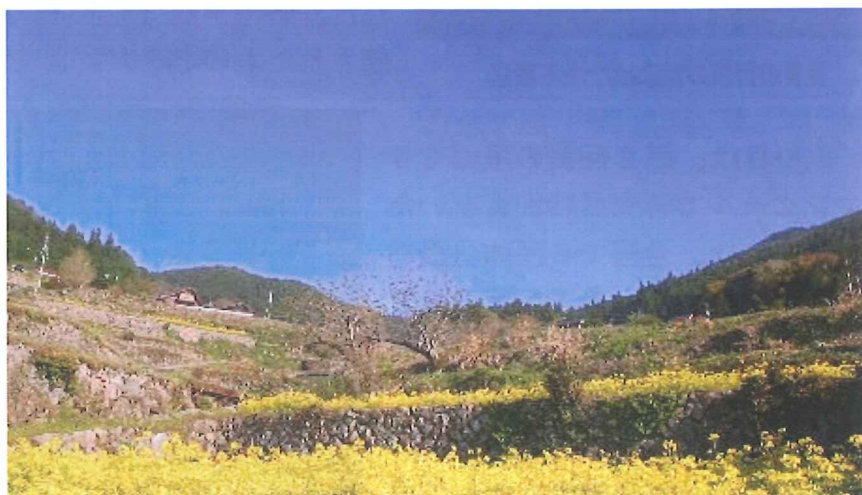
### 坂折の風、癒しを求めて来訪者ふえる

里山の新緑、棚田石垣、菜の花のイエローとのコントラストが眩く広がる我が郷、坂折。シャッターチャンスを狙って動き回るカメラ愛好者。今年も農家と来訪者の活動が盛んな時期到来となりました。

平成15年この坂折で全国棚田サミットが開かれ以降年々多くの方が景観を求め、里山の風を求め、癒しを求め来訪されるようになりました。ことわざに「類は友を呼ぶ」といいますが、「どっからおんさった。」「ご苦労ですね。」「大変ですね。」「今年は雨が少なく川の流れが無いですね。」「桜が遅くまで咲いている時は雨が降らないといえますから。」などちょっとした会話からコミュニケーションが生まれ相手を楽しく迎えられることの喜び。保全の取り組みもまた様々な角度から学ばせてもらえます。

保全といえば休耕地の菜の花、冒頭にも書きましたが皆さん大変きれいだと大評判でした。これは昨年11月にアストラゼネカ社（外資系製薬会社）岐阜支社の方が30名ほどみえて、彼岸花の球根を植えたり、菜の花の種を蒔いたり、石垣の草取り等、1日ボランティアとして頑張ってもらいました。菜の花もアストラゼネカ社の皆さんの熱意の裏で、色鮮やかに咲き乱れしっかり応えてくれました。今年は10月に来られるそうです。棚田保存会とアストラゼネカ社のコラボレーション。秋が待ちどろしい思いです。

また、変わった行事では棚田ネットワークと棚田保存会の連携で坂折川の畔で休耕地3枚を活かして、ビオトープ（野生の動植物が高密度に生存する空間）活動を始めました。保存会員が出て耕し、代掻き、畦塗りと頑張ってもらい、今は水を張った状態ですが「カエル」を中心に生態研究されます。



最後に誰だったか記憶にありませんが、強く印象に残った言葉を記します。

心が変われば、動きが変わる。動きが変われば、環境が変わる。  
環境が変われば、感性が変わる。感性が変われば、人生が変わる。

副会長 鈴村 直

## 坂折棚田屋敷「なごみの家」に決定

本柘植住宅（通称酒屋）を借りて改修を進めています。前回、会員の皆様から住宅の名称を募集したところ、棚田造成の歴史を表現する意味と坂折棚田を訪れる多くの方が「棚田に来ると心が和む、心が癒される」と言われていることから、名称を坂折棚田屋敷「なごみの家」としました。この施設を保存会としても皆さんと活用できるよう「なごみの家」住宅利用規定（案）をつくり恵那市坂折棚田保存会会員及び棚田を愛する方々の交流を図るとともに、当地域のまちづくりに資するため、住宅の利用規定を定めました。

- ・ 利用申し込みは、**管理者飯田和昭（0573-23-2441）**に連絡し許可を受けます。
- ・ 利用料金は休憩5名以上2,000円、宿泊素泊まり（寝具持参）1人2,000円です。

利用の目的によって料金は相談に応じます。住宅の改修がまだ必要です。順次進めて参りますのでご利用をお待ちしております。

## W受賞(ひだみの景観賞、美の里づくりコンクール特別賞)



受賞の評価の対象となった石積塾

当保存会は、今年度2つの賞をいただきました。1つは「ひだみの景観賞」です。この賞は平成18年中に地域の景観を良くする地道な活動した団体を岐阜県知事が表彰するもので、県下8団体が表彰されました。これは坂折の皆さん方が長年にわたって石積みの美しい棚田を守ってきたことが表彰の理由となりました。特に平成18年11月実施した「石積塾」が評価されたものと思われます。

2つ目は、第2回美の里づくりコンクールで審査員特別賞をいただきました。全国で6団体（農林水産大臣賞1点、農業振興局長賞2点、審査員特別賞3点）も名誉ある賞です。この賞も「石積塾」を実施し、美しい坂折棚田を保存していることが評価されたものと思われます。

これからの保存活動の励みとなり、これからより一層活動を充実してまいります。



美の里づくりコンテスト表彰後の記念撮影



## 坂折棚田オーナーによる田植えを行う



去る、5月26日(土)快晴に恵まれた日に、坂折棚田の美しい風景の中で、代掻きの終わった田に植える位置を示す線が引かれたところにオーナーごとに約1アールに田植えをしました。初めは戸惑った方もありましたが、すぐ慣れて田植えは午後3時に無事終了、各自「くろくわ」を土産にもらい帰途につきました。

今年のオーナーは32組(去年は7組)、一部に恵那市の最南端串原自治協議会が町おこしの一環として恒例の行事「ささゆりの里」全国歌合戦の入賞者(コーラスの部)に3年間坂折棚田のオーナーになって頂きました。恵那の南端と北端がこうした繋がりを持たれたことは、双方プラスになり活性化に我々も心を新たにしながら頑張り様々なドラマを作って行きたいものです。

## 保存会の各部会検討会開く

5月28日(日)中野方公民館に於いて部会別検討会を行いました。

### 【文化伝承部会】

1. 石積塾、歴史学習会、棚田案内ボランティアの育成、棚田の歴史学習会をもっと楽しくする。
2. 年中行事の比較検討(田の神信仰)
3. 6月16日～17日 地元学への参加

### 【都市交流部会】

1. 棚田カレンダー作成、写真コンクール
2. 棚田コンサート、水車の活用(発電を検討)

### 【棚田ブランド開発部会】

1. 棚田米の袋作成(デザイン依頼中)
2. 棚田米の品種、コシヒカリ・ミネアサヒ
3. 芋こねもちのブランド化

### 【環境保全部会】

1. 石積み部分の掃除(アストラゼネカ社、奉仕活動10月10日保存会員出席)
2. 「なごみの家」玄関付近にバラスを入れる。
3. 石積体験コーナーを設ける

以上部会で検討された結果は、役員会、総会を経て実行されることとなります。

\*\*\*\*\* 坂折棚田の案内 \*\*\*\*\*

○ 恵那市坂折棚田保存会総会

とき 7月21日(土) 午後3時  
ところ 坂折棚田屋敷なごみの家

総会の案内は別途お送りします。出席いただくよう準備をお願いします。



第13回全国棚田サミットがおこなわれる 栃木県茂木町の棚田風景

○ 棚田コンサート

とき 9月29日(土) 午後6時  
ところ 棚田広場

○ 第13回全国棚田サミット

とき 8月24日(金)～25日(土)  
ところ 栃木県茂木町<sup>もてきちょう</sup>  
テーマ「美しい土の里から

～棚田から明日への提言～

## 第1回『坂折棚田』フォトコンテストの募集

坂折棚田が日本棚田百選に入り、全国的に知られるようになりました。そのこともあって、毎日誰かが写真を撮る姿が見られます。今回、保存会主催で写真コンクールを開催します。棚田での営みや都市住民との交流、農業者の笑顔など棚田での感動の一瞬を撮影した写真を募集します。プロ、アマを問わずどなたでも応募できますので、多くの方の応募をお待ちしています。



- ・テーマ；あなたが後世に残したいと思う坂折棚田の風景
- ・応募期間；平成19年9月30日まで
- ・申し込み・問い合わせ；

恵那市農業振興課 農村交流係 0573-26-2111 (内545)

中野方振興事務所内 恵那市坂折棚田保存会 0573-23-2111

### あとがき

今回、2つの賞を頂きました。国・県に坂折棚田がアピールできたことをうれしく思うとともに、これも皆様のご理解、ご協力の賜物であり、他の地域、団体との交流、活動も会員皆様の地道な活動があつてのことだと感謝しています。

2年目を迎えた保存会もやるべきことが目白押しですが、組織固めも含め、皆様のご協力をよろしくお願いします。

恵那市坂折棚田保存会 事務局(中野方振興事務所内) 23-2111